



ハケ・用水・わき水通信

NPO法人 府中かんきょう市民の会
 発行 2021年10月25日(月) No.40
 担当 葛西利武 ☎090-5564-5838
 H P <http://f-env.sakura.ne.jp>
 府中市市民活動センタープラッツ登録団体

オリエンテーション フィールドワーク

再開！ 秋の「第五小学校」環境学習

今年で5年目となる第五小環境学習は、コロナ禍で今年春はお休みとなった。ようやく緊急事態宣言等の期間が明け、西府崖線の身近な自然に触れられる環境学習を再開できた。当会会員9人の参加を得て、3年生各クラスごとのオリエンテーション(10/6)、その後さらに班分けし10人程度でのフィールドワーク(10/14~15)を実施し、密を避け感染防止にも努めた。以下は担任4人と当会会員の寄稿。



クラスごとのオリエンテーション
小西さん、浅田さん

当会講師の話を一生懸命メモ

3年4組担任 東江 亨(アガリエトオル)

3グループに分かれての活動でしたが、子どもたちは地域の自然に興味・関心をもって取り組んでいました。昆虫グループではバッタやチョウを捕まえて、目をきらきらさせながら観察している姿が印象的でした。野草グループでは、お友達の身長よりも高いススキに驚いていました。樹木グループでは、地域の方の話を一生懸命にメモしている姿がありました。

このような貴重な機会を設けることができたのも、府中かんきょう市民の会の方々をはじめ、PTA・保護者の皆さまのご協力があつてこそだと感じております。本当にありがとうございました。

自分たちは樹木博士になったよ！

3年1組担任 細川久美子(ホカワ クミコ)

子どもたちが生まれ育った地域に誇りを持ち、ハケ「西府崖線」の素晴らしい自然環境を守り育てる市民の一員として成長するきっかけを作っていただきありがとうございました。最初の種を府中かんきょう市民の会の方々に蒔いていただいたこと感謝しています。

今回、「楽しかった」「見つけた」「見た」「分かった」という発見は、子どもたちの好奇心に火を付け、「自分達は樹木博士になったよ！」と言って帰ってきました。常緑樹と落葉広葉樹の違いを意気揚々と語るに真剣な学びを感じました。事前散策などの準備も含めありがとうございました。

環境学習に初めて参加して

当会会員 鈴木淳佑(スズキ ジュンスケ)

澄んだ空気が心地よい秋晴れのもと五小の環境学習に参加しました。各回、各班(昆虫班、草花班、樹木班)にそれぞれ十名程度の児童と約1時間半の野外学習で私は昆虫班を引率しました。昆虫班の児童は比較的わんぱくな児童が多かったようで、すぐに散らばってしまう子どもたちに細心の注意を配りながらPTAの方々のサポートもあって無事に終えることができました。

空を飛ぶ昆虫から陸、地中、水中にいる多種多様な生き物が見つかり好奇心いっぱい夢中になって虫を捕まえ目を輝かせている姿をみて、自分の少年時代も同じだったなあ、と思いつくことができ生物多様性が今も維持されている西府崖線の自然の素晴らしさに改めて気づかされました。

実物を見て学ぶことの大切さ

3年2組担任 野村里美(ノムラ サミ)

「明日虫取りができる！」と子どもたちは前の日からうきうきしていました。見慣れた道も、樹木や草花、昆虫と視点を絞って見てみるとたくさんの発見や学びがあることに驚きました。

オリエンテーションの時には知らないことだらけだったのに、フィールドワークが終わる頃には「これは常緑樹」としっかり見分けられるようになり、実物を見て学ぶことの大切さを改めて実感しました。ありがとうございました。

秋の七草が見られた

3年3組担任 林 香織(ハヤシ カオリ)

府中かんきょう市民の会のみなさん、先日はありがとうございました。野草のグループでは、五小の周りは、養蚕がさかんだったこと、ススキやクズ、フジバカマなどの秋の七草も見られることを知りました。

昆虫のグループは、自然の中でいろいろな昆虫を取り、うれしそうに持ち帰りました。樹木のグループは、落葉樹と常緑樹の見分け方や、モミジは、なぜ色が変わるかを知りました。自然に触れ、子どもたちは、満足の日になったようです。

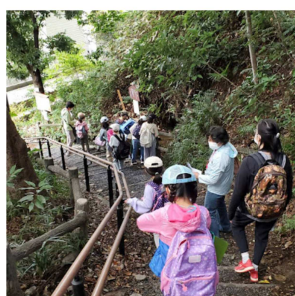
「樹木・昆虫・野草」各10名ほどに分かれてのフィールドワーク



樹木の説明をする竹内さん(奥)



見つけた！カブトムシの幼虫
(中央 男子児童の手に)



「わき水」のことを勉強(下)



秋の七草を調べ、熱心にメモ

(1)秋の清掃活動

- ・日時／11月6日(土) 9:30～11:30 荒天7日(日)
 - ・集合場所／JR西府駅・南へ徒歩3分、
NEC方面歩道橋エレベーター下 9:30集合
 - ・持ち物／長靴、長袖、帽子、飲み物、マスク着用など
 - ・連絡先／葛西 (Tel. 090-5564-5838)
- ※「広報ふちゅうかわら版11月1日号」にも掲載予定

(2)冬の野鳥観察会

- ・日時／2022年1月15日(土) 9:00～11:00 荒天16日(日)
- ・集合場所／(市川緑道)あずまや 8:50集合、
参加希望者は直接現地へお越しください。
- ・持ち物／飲み物、マスク着用など
- ・案内人／田中香代子
- ・資料代／200円(カラー図版3部作+野鳥図)

ゴマギ(スイカズラ科)は現在、東京都では「絶滅危惧種」に指定されています。日本原産の固有種で、若い枝葉や樹皮にはゴマ油のような香りがします。

当会が9年前の2012年5月からネームプレートを取り付けて保全していましたが、今年4月に西府崖線で作業をしている業者さんからの情報で知りました。下は、そのゴマギの写真2枚です。今後も大切に保全していきたいと思ひます。



取り付けているネームプレートのズームイン
白花を咲かせたゴマギ=2021年4月21日撮影

環境保全のため 「西府町湧水・水質調査」は大切な市の事業

市は昭和50年代から「西府町湧水」の湧水量等の実態調査を行なっている。都市化や舗装の増加等により、湧出量の減少が問題となったことがきっかけだ。以後、環境庁告示環境基準等検査項目を8月と12月の年2回調べており、その結果は「府中の環境」で公開している。8月の業者による水質等調査に当会が参加した(Ⓣ業者の水質検査)。

「大腸菌群」に関しては数値が出ているが、当会が市民調査活動で調べている「大腸菌」についてはここしばらくゼロである。近年問題となっている「有機フッ素化合物」が気になるが現在の検査項目にはない。『東京都名湧水57選』の一つだが、看板には「この湧水を飲まないでください」と書かれている。災害時には役に立ってほしいが…。*「大腸菌群」とは、土、空気、水など自然の中に広く分布している菌



回答:水質調査は都市化に伴う建物や舗装の増加等により、湧出量の減少が問題となったことから、実態把握を目的として昭和50年代に調査を開始しました。

○水質調査内容(法的な種類など)をおしえてください。

回答:流量、水温、色相、pH、SS、COD、大腸菌群数、全リン、1,1,1-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、塩化物イオンを調査対象としています。環境基準が設定されている項目は環境庁告示の測定分析方法により行い、その他の項目は、特に指示がない場合「JIS K0102 工場排水試験法」の測定分析方法で行っています。

○それぞれに継続している意義について教えてください。

回答:継続して調査し、現状を把握し続けることは、今後の環境保全のためにも非常に大切なことと認識しています。

○それぞれの水質内容の経緯をみてどのようにとらえていますか？

回答:瀧神社の湧水は、降水量が少なかったこともあり、水量の減少や欠測が多い状況が続いています。舗装の増加や緑地の減少など都市化の影響による水量減少や枯渇は、都市部の湧水に共通の現象であり、今後も状況を見守る必要があります。

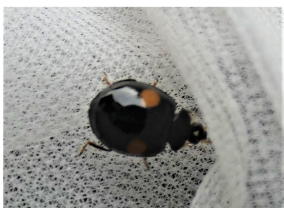
(質問者は浅田多津子)

< 当会の質問内容と環境政策課の回答 >

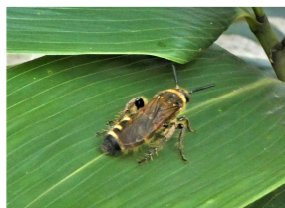
○西府町湧水の水質調査を行なったきっかけを教えてください。お滝湧水はどうですか？

西府崖線 「生態系調査」時の昆虫写真10点

2021年9月6日実施分
気温22℃



アカボシテントウ



シオヤブ



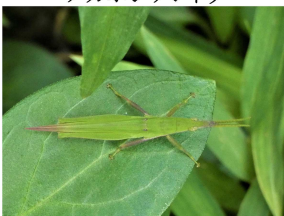
ベニシジミ



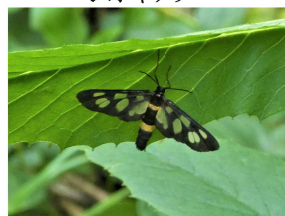
ウスキトガリヒメシヤク



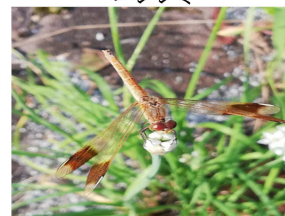
アオドウガネ



ショウリョウバッタモドキ



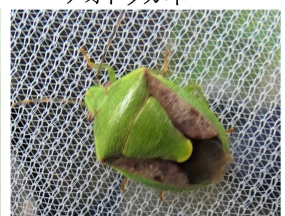
カノコガ



ミヤマアカネ



キボシカミキリ



チャバネアオカメムシ